

海外ボランティアが副知事を表敬訪問しました！

令和6年8月1日(木)、独立行政法人国際協力機構(JICA)の海外協力隊として活動後帰国された伊藤きらら(いとう きらら)さんが中村副知事を表敬しました。



● 帰国隊員 ●

伊藤きららさん



伊藤さんは、令和4年7月から令和6年7月までの2年間、青年海外協力隊としてボツワナへ派遣されていました。ボツワナのトロッケン県庁の公衆衛生課に配属され、任地では環境教育の担当者として務められました。学校訪問等を通してゴミの減量化に向けた啓発活動を実施すると共に、地域のゴミ置き場の改善について様々な助言を行ったそうです。

中学の頃から環境についての問題意識があったという伊藤さん。自分も何かしたいと思い、海外協力隊のことを知ってこれだ!と手を挙げました。

現地では人々の環境に対する意識を変えることが大変だったとのこと。学校訪問をするようになって、子どもたちが自分からゴミを分別してゴミ箱に捨てるようになったときはやりがいを感じられたそうです。

表敬当日は「ジャーマンプリント」という素敵な柄のワンピースで来られました。ボツワナではお祝い事の時に着る伝統衣装とのこと。深い藍色が印象的でした。

今後も環境教育について学び続け、NGO活動などを通して活動を続けていきたいと意気込みを話されていました。



中村副知事は伊藤さんに対し、「まだ環境に対する意識が育っていない国で、人々の意識を変えることは大変だったと思う。日本が歩んできた道で直面した問題を、次に続く国に伝えるのはとても意義深い事。今後は県外での活動を計画しておられるとのことだが、福井県ともつながりを持ってほしい。ご活躍を期待しています。」と励ましの言葉をかけられました。



中村副知事と伊藤さん



左から国際経済課上藤課長、中村副知事、伊藤さん、JICA北陸センター 千田さん、熊谷さん